

< 記事 >

[« Do-noh » ou sacs de terre : Une technique d'entretien routier implémentée à Kaya - leFaso.net](#)

土のう：カヤで行われている道路整備技術

中央北部地方サンマテング県インフラ・開放局では、道路を土で補修する技術を実践しています。作業は **2023 年 3 月 17 日（金）**、カヤのセクター2 に位置する道路で、**100** メートルの距離にわたって開始されました。

この道路は、**Kaya** 地区 **2** 番地のタールと県道 **19** 号線（**Kaya-Barsalogho**）を結ぶ道路で、劣化が進んでいるため、通行できなくなっています。穴も多く、泥化しており、この道の通行は利用者や住民にとって試練です。

道路状況の様子

「道路が荒れていることが、私たちの悩みの種です。乾季には埃が舞い、雨季には泥や水が淀み、道路沿いの小さな商売を中断せざるを得ません。

肉屋の **Issouf Sawadogo**（サワドゴ）さんも、道路利用者の **Pingdwendé Sawadogo** 氏も同様に感じていました： "この道路には問題があります。特に雨季には、道路の状態のために、**5** キロメートル以上の距離を周回しなければなりません。"

「土のう工法」という新しい技術を導入することで、この道路は近い将来通行可能になるでしょう。土のうとは日本語で土を入れた袋のことです。それを使って土の道路を補修する日本の技術です」と、サンマテング県インフラ整備・開放局長の **K ジョルジュ・サワドゴ** は説明します。

「私たちは **JICA** の理論的・実践的な研修を受け、その最後に **JICA** から資金提供を受ける行動計画を提出しました。そして、この **500** メートル整備する計画を立てましたが、時間の関係で **100** メートルに縮小されたこの整備を行っています」と、この活動を調整している州局長は答えました。州局長は **JICA** ボランティア **14** 名とともに、土のう工法の研修を受けました。

現場では、州局長とナショナルボランティアが技術的な作業を調整し、土のうの袋にラテライトの土を入れ、道路に敷設し、締め固めます。最後に、表層土でカバーし、水をやり、締め固める。**15** 日間で、この道路の交通は、**100** 直線メートルの重要なポイントを処理することで、通行可能になるのです。